

第1回 香南市営バス検討委員会

議事録

- 日時：令和4年10月26日（水）14時30分～16時10分
 - 場所：香南市役所本庁2階 201・202・203会議室
 - 出席委員：小松健一、大谷修二、村井洋子、吉川宗子、吉田雅彦、山中節子、北川俊一
 - 欠席委員：森尾美紀
 - アドバイザー：米森哲矢、横山厚史（代理出席：芝絢奈）
 - 高齢者移動関係：都築敏夫（高齢者介護課）
 - 障害福祉関係：坂本充子（代理出席：松田洋彰 福祉事務所）
 - スクールバス関係：三木守（学校教育課）、小松大洋（こども課）
 - 事務局等：岩田由子、小川哲弘、宮崎遼（地域支援課）
土居貴之（合同会社えこ・まち研究室）議事録作成
-

1. 開会（市長挨拶）

市営バスの在り方というのは、香南市のみならず、高知県全体に通ずる課題であり、高齢者や障がいのある人など移動制約者の移動手段を確保し、人口減少に歯止めを掛けるという視点では、大切な存在であり大きな役割を果たさなければならない。

そのためにもこの会議の意見をしっかりと踏まえ、バランスをとりつつ、多くの人の移動手段として機能する市営バスを一緒に考えていきたいので、よろしくお願ひしたい。

2. 委嘱状交付及び検討委員会について

委員に委嘱状を席上交付。

3. 委員長、副委員長の選任

事務局より、委員長：小松健一委員、副委員長：吉田雅彦委員を提案。異議なしにより決定。

なお、本日の定足数について、委員の半数以上の出席により会議成立を報告。

4. 報告事項

(1) 香南市地域公共交通計画の策定について

事務局が参考資料 1 をもとに、香南市地域公共交通計画の策定についてその経緯を説明。

5. 説明事項

(1) 市営バス再編に係る検討の概要

事務局が資料 1：市営バス再編に係る検討の概要を説明。

(2) 市営バスの概要及び現況

事務局が資料 2：市営バスの概要及び現況、参考資料 2 を説明。

(3) 再編に向けた調査の実施

事務局が資料 3：再編に向けた調査の実施を説明。

○ 村井委員より質問

深淵・母代寺線の運行経路について、道路状況が悪いと意見されている。自身も首が痛かった時にはタクシーの利用でさえ首に響いてしんどかった。バスの揺れは利用者にはさらにしんどいと思う。道路改良の予定はないのか。早急に対応してあげて欲しい。

⇒ 事務局より回答

佐古のコミュニティセンターから下分に至る道路が狭くなっている。現状では道路改良の予定はないが、担当課に伝えておく。

○ 村井委員より質問

「自家用車を運転している人は、いずれは運転できなくなる。」という意見を読み、自分もいずれは車を利用することができなくなると身につまされる思いだ。このような人が市営バスに乗ることを視野に入れていい考えはあるのか。

私たちが婦人会で市営バスで市内を巡る催しを企画し、市営バスに乗り慣れようとしている。

⇒ 事務局より回答

市の取り組みとして、「市営バスお試し券」を 65 歳になる方と 75 歳になる方に渡し、自動車に乗れる内から市営バスに乗ってもらう取り組みを行っている。

○ 村井委員より質問

市営バスパスポートではなく、回数券があればプレゼントなどに活用できるのではな

いか。

⇒ 事務局より回答

市営バスには既に回数券があり販売している。バスパスポートについては、利用者の都合に合わせて選んでもらえればと考えている。

○ 北川委員より意見

赤岡地区にて、保健センターまで歩いて行くには遠い人や通勤にごめん・なはり線を使う人から、市営バスを赤岡駅の下も通るようにして欲しいという要望が出されている。また、赤岡の支所を通るような路線も要望されているので検討していただきたい。

○ 村井委員より意見

吉川下井線夜須行きは、吉川旧庁舎前にて狭いところで乗り降りするので危なく、後続車への影響もある。そこで、旧庁舎の生け垣を撤去して乗降場を設置してはどうか。

また、吉川のコミュニティセンターに市営バスが入るようになれば、周辺の人が乗降しやすくなるのではないか。

このような意見が地域から寄せられているので、自分が関係する会合にて意見させていただこうと考えている。

○ 大谷委員より意見

高齢者は一人ひとり移動が異なる。これで決まり！というものにはならない。それでも細やかな配慮をした対応を考えてくれているので感謝している。

その中でもひとつ意見を言わせていただければ、買い物などに行く時は市営バスに時間を合わせて行けるが、帰りの時間になかなか合わせづらい。行きは市営バス、帰りはタクシー利用というのが多いようである。往復市営バスを利用できるようになったらいいと思うが。

○ 吉田委員より意見

平日に休診する医療機関などがある。また、羽尾の大釜荘も水曜日は休みであった。こういうのはバスに情報掲示するなど、間違えてその日に行ってしまう人がでないよう配慮してあげたらいいと思う。土地勘のない人もいるので考えて欲しい。

○ 大谷委員より意見

市営バス乗車時などに「〇〇までお願いします」、「〇〇で降ろして」と言っても、乗務員によって返事をくれない人がおり、不安を感じる。せめて乗客に聞こえるように返事をして欲しい。

⇒ 委員長より提案

とさでん交通などが使っているヘッドセットのようなものを導入したらどうか。

○ 村井委員より質問

スクールバスの置き去りが問題になっているが、市営バスをスクールバスとして運行している分についても、何か対策をするのか。

⇒ 事務局・こども課長より回答

現段階では詳細な情報は届いていない。

6. 協議事項

(1) 市営バスの再編（案）及び利用促進の取り組み方針

事務局が資料 4：市営バスの再編（案）及び利用促進の取り組み方針、参考資料 3 を説明。

○ 大谷委員より質問

予約式乗合タクシーにも時刻表的なものはあるのか。

⇒ 事務局より回答

予約式乗合タクシーの路線型として運行するものについては時刻表を設定する。エリア型として運行する夜須町の路線については、おでかけ便については夜須駅到着時間を、おかえり便については夜須駅出発時間をあらかじめ設定し、野市方面とつなぐ鉄道やバスとの接続をすすめる。そのため、おでかけ便の予約受付締切後に迎えに行く時間を電話でお知らせすることになる。

○ 村井委員より質問

1 人でも予約は可能か。

⇒ 事務局より回答

1 人でも予約は可能である。

○ 村井委員より意見

さきほど話した吉川の件であるが、今回の再編には当然間に合わないと思うし、今すぐして欲しいというわけではない。将来的に実現させてもらえるよう検討を進めて欲しい。

○ 吉田委員より意見と質問

全体的に路線網がすっきりし、わかりやすくなっていいと思う。また、バス停名称も土地勘のない人にとっても分かりやすいものになっており良い。

のいち動物公園線の休日運行というのは、土日祝日なのか。また、便数としてはどのくらいを考えているのか。運行便が少なすぎると長い時間待たないといけなくなる。

⇒ 事務局より回答

のいち動物公園線の運行は土日祝日である。運行便数については調整中であるが、少なすぎると使いづらい。他の路線は平均して午前中に 3 便、午後には 3 便としてい

る。使いやすくなるよう調整している。次回検討会には便数及びダイヤについて説明する。

○ 北川委員より意見

さきほど要望した赤岡駅に入る路線についても、将来的には考えて欲しい。地区住民からも通学利用も含めてかなりの要望が寄せられている。

⇒ 事務局より回答

現状において、横町から支所に向いて出て行く道路が狭く、横町方面に進入してくる車との行き違いなどネックになると予想される。市営バスが安全に運行できる道路状況になっていないのが課題である。今回の再編には間に合わないが、将来的には新たな路線の検討も含めて考えていきたい。

○ 大谷委員より意見

予約式乗合タクシーに切り替える路線沿線については、予約が改めて必要になるため、特に高齢者に対する丁寧な説明（予約の仕方、予約の期限、予約キャンセルの仕方など）をお願いしたい。

7. その他

(1) 取り組みスケジュール

事務局が資料5：取り組みスケジュールを説明。

○ 吉田委員より意見

運転免許返納者数がどのように推移しているのか、調べていたらどうか。

⇒ 事務局より回答

次回検討会に提示する。

閉会：16時10分